

# せったん

北摂・丹波支部

第143号 2012年11月5日

発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階  
行 TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802



レクリエーション  
企画

## 美味しいもの作り 心もお腹も満腹に

感想文



北摂・丹波支部は10月14日、「ソーセージ作りとアイスクリーム作り」(文化部共催)を六甲山牧場にて開催。会員とスタッフ、家族ら51人が参加した。豚ブロック肉から作る「ソーセージ作り」を37人が、牛乳・生クリーム・砂糖を混ぜ合わせて作る「アイスクリーム作り」は定員いっぱい45人が体験した。参加者の感想文を紹介する。(兵庫保険医新聞11月15日号に掲載予定)

秋まっさかり。日中はまだまだ暑さが残っていますが、朝晩は寒いくらいになりました。六甲山に登っていくにつれ、色づき始めた木々に秋を感じられました。

ソーセージ作りとアイスクリーム作りの体験で上手く作れるか期待と不安が入り交じっていました。ソーセージ作りに用意された材料は、いたってシンプルで、豚のブロック肉と配合されたスパイスと



豚ブロック肉をミンサーでミンチ状に。味付けして羊腸に詰めていく

まずは豚肉の塊をミンチ状にする作業からです。あとは残りの材料を入れて混ぜ合わせるだけです。いよいよソーセージの皮に先ほどの肉を詰めていくのですが、なかなか上手く出来ず空気が入ったり、太さが均等にならず見た目はあまり良いとはいえないものでした。

しかし半分位詰めていくとコツも解り、機械の上で肉を押し入れていく人と出てきた肉の量を加減しながら皮を引っ張っていく人との共同作業の息もぴたり合うようになり、見た目もずいぶん美味しそうなる形に出来てきました。あとは30分程ポイルすれば出来上がりです。

できたてのソーセージは素朴な味わいで噛めば噛むほど美味しさが増し、もうひとつもうひとつ・・・と食べてみたくなるほどでした。アイスクリーム作りの方も



氷に塩を入れてマイナス18℃に。手早く混ぜてアイスクリームを作る

牛乳・生クリーム・砂糖・スキムミルクと、とてもシンプルで家庭で普通に用意できるものばかりです。こちらも材料をただ混ぜ合わせるだけなのですが、氷に食塩を加えたボウルで表面を冷やしていくとすこしづつ固まっていきました。凝固点降下を利用してアイスクリームが出来るのは驚きでした。出来上がったアイスクリームはこれもまた素朴でどこか懐かしいような味でした。

気持ちの良い秋晴れのもとで、このような美味しい物づくりの体験を企画していただき、心もお腹も満腹で、また他院の先生方との交流も楽しめて、とても有意義な一日を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

【三田市・中西歯科医院

川村 恭子】



懐かしい味のするアイスクリームを試食



あつあつのポイルしたてのソーセージを試食。団長の福田俊明先生(左)

兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部 改定医療法対策 院内感染対策研修会 Part①

### 「在宅医療での感染対策」

日時 11月10日(土)午後3時~4時30分

会場 三田市総合福祉保健センター 3階 会議室3・4

講師 小川 麻由美氏(済生会兵庫県病院 感染管理認定看護師)

参加費 1,000円 (受講された方には受講証を発行します)

“入院から在宅へ”との厚労省の政策誘導の影響や高齢世帯の増加によって、在宅医療に取り組む医療機関が増えていますが、在宅では医療機関内とは全く違う環境・衛生状態で医療・看護を提供することになります。その結果、比較的高度な医療も在宅環境において行う機会が多くなるため、感染のリスクも必然的に高くなり、在宅での質の高い感染制御技術が求められています。

なお、医療法で「医療安全管理」「院内感染対策」に関しては、職員・従業者の研修を年2回程度実施することが求められています。無床診療所(内科・歯科)の場合は、外部研修でも認められていますので、この機会をご活用下さい。

※お問い合わせは、078-393-1801・3 平井・黒木まで

## 健康と医療について語り合う会

感想文

# 健康への関心 高めていきたい

北摂・丹波支部は9月22日、健康と医療について語り合う会(兵庫県聴覚障がい者の医療を考える会)「生活習慣病と食生活」を丹波市柏原住民センターで開催。丹波市・和久医院の和久晋三先生が講師をつとめ、33人が参加した。参加者の感想文を紹介する。(兵庫保険医新聞11月15日に感想文掲載)

聴覚障がい者と健聴者との学習会でした。まず、「みなさん、こんにちは」「私の名前は『ワ・ク・シン・ゾウ』です」と手話でのお話から始まりました。和久先生の聴覚障がい者に対する優しいお心遣いを知り、お人柄をととても身近に感じることができました。「生活習慣病と食生活」というテーマについて、パワーポ



講師を務める和久晋三先生

イントを使って話をされたので、内容がよくわかりました。命は見えないので、それだけの人が使える時間を大切にすること。  
・死亡率の高いガン予防のための食事療法は減塩が大切であること。  
・糖尿病を防ぐための具体的な食品や要注意食品のこと。

また、普段の食事についても、一口30回噛むという食べ方や運動の大切さなどのお話もありました。病気は口の中から始まることが多く、歯周病などは全身の病気の原因にもなるそうです。だから、定期的な歯の検査が大切であると思いました。

これからの生活の中で教えていただいたことを、一つで



講演後、和久先生を囲んで記念撮影

も二つでも家族の食事の中で実践できるよう、気をつけていきたいと思います。また、医学知識も時代と共に変化しているようです。常に新しい情報や知識に耳を傾け、健康への関心を高めていきたいと思いました。

【兵庫手話通訳問題研究会・丹有地域班 塩見 陽子】

## 「県立こども病院ポーアイ移転計画の見直しを」 請願

篠山市  
丹波市

# 篠山市議会本会議で「趣旨採択」

## 丹波市議会は「不採択」

北摂・丹波支部が篠山市議会に提出していた「県立こども病院のポーアイ移転計画の見直しを求める意見書提出についての請願」が、10月4日の本会議で審議され、賛成9、反対8の賛成多数で趣旨採択となった。また、丹波市議会では10月10日の本会議で賛成5、反対18の反対多数で不採択になった。

篠山市議会では、9月11日の文教厚生委員会での趣旨採択(前号既報)に続いての本会議での採択となった。「趣旨を採択するということであれば、意見書を提出するべきではないか」との質問も出されたが、「現状では県では予算もつけて具体化が進められているため、意見書は提出せず趣旨採択としたい」との委員長提案が採択されたもの。

丹波市議会では、本会議の討論で、足立一光議員(自由クラブ)と西本嘉宏議員(共産党)が賛成討論を行った。足立議員は「党派を超え一人の県民として賛成意見を述べたい」として「こども病院は、現在県に一つの病院であ

り、先の大震災でも液状化によって孤立した海岸はやめて県下どの地域からも1時間程度で行けるような内陸部に移転すべき」と述べた。西本議員も「丹波市からの受診していることもいる。



西本嘉宏議員  
(日本共産党)



足立一光議員  
(自由クラブ)

### 幹事会のご案内

今回は11月8日(木)  
午後7時～「大正庵」

どなたでもお気軽にご参加いただけます。参加希望の先生は、事務局(078-393-1801・1803 黒木・平井)までご連絡ください。



県下で1か所の総合周産期母子医療センターとしてのこども病院を、大震災の時にアクセス出来なくなったポータアイランドへの移転は見直すべきである」と紹介会派としての賛成意見を述べた。